百人一首讀考抄

これといへりおのれむかし人の爲に此ものかんとしては
とけのうちいまうつしえうるさきはきよりありて
久しき楽れうつたなりき其ゝへ月と節と候とは
あそふへする数なりとときありかきは安雅ある
へしもなしとおひてつひに名を定めつさて此抄の
発や傳のめでたさを詩かくもしるべきとてすなはち
おのれきらう詞をそへけるはらく書るものは梅園撰叟
此をひのえ法るみやしさつきとをかあまりあまん

蔓子舎
篁家

ものまたに
まくれ　さ髪き
名あり谷経
うつとい　へる
池乃あ　やめんか

信諏訪 土橋氏

玉札十束
越高田 吉田氏

奥盛岡 毛馬内氏

あつく世を ふみ小 切みし ましろさに やまみるゝ わこの芝山

森留亭満葉

江戸 田上氏

ほとゝぎす
ちやまるけ
よの声綿をさ
老ういひすや
ワたれた里
くむ

晋長堂 春秋

江戸 伊藤氏

かざしゝ風車
袖にそもくれ
あふるさとの
はやたもらつまし
なれぬしき哉

龍田雲山

大和竜田岩倉氏

やまにたてる
木の葉
ちらして
月ひとつ
吹のこしつる
峯の
風

梔江園
儒

江戸 細木氏

秋のよの
旅寝の床に
おくつゆを
君よしの
雪かゝるへに
露の
白玉

富泉亭
守蔭

信 諏訪 松村氏

りちゑる
まどはれ　さも
本めらん
あらゆし　みのく
峯のかゝる
朱

遊ゞ鈑
呉磨

信
諏訪北澤氏

落るうへ
見しや
それは
かのぬまた
西きもこゝ
あ冨く
ひきり
う乳

釼月菴娘人

越中城
坂口氏

岡垣真篤

よねるより
うつらぬなまと
ありし筆理
めさつきれ
ぬる花の
さし波

信高遠　赤羽氏

帳箱

蒸栗園　千穎

まふ雛あ
杉むあへあ
くれ盛山
さとの
これのつゆいに
あけても
あまり
く理

江戸　西村氏

五月雨に
くもるを晴りし
ほまれあすの
神ならぬ
ひとつれ
日和と為
なるかな

東花庵何首人

江戸 稲葉氏

於は大浪よ
契りし人を
おもふれ肥
寝こそ
うらみを
いつか
寝覚んとする

百中亭箸篤

奥會津白澤 深羽氏

冬の
よのさむき
いとこよ
出る月を
見て
ちやきぬも
あきれ
ちりかり

東風亭巴流喜

越 神田 冨永氏

峯垣真高

いひ出む
言葉み
いろを
むすぶ
あや
文みし
とりて
とも
こゝら
がれ

信 松本 曽根原氏

遠地瀧津

まろ
しらぬ
人のこゝろの
底まても
くみてしるは
酒のこゝろなれ

越 梶村 大滝氏

桂林堂 月好

月の中へ一文字ひきて上野や
新田のやり残かゝる初雁

信梨澤 泉珠院

浩埒亭 雖機

倍波の海さゝおこるを
積出くはしまる
あら根れあしの
わらさく

駿河 半田氏

此花園
琢名

きのしも
月出けるかも
なのはなの
ゆふもち雪の
出てくるやと

江戸
葉山氏

朱酒門
芋め

春雨すゝ
ゝ川の
いまし兒
おのつから
またて
ひらき
咲けれ

梅樒

江戸
石川氏女

七珍亭万寳

象牙ことのあはれさびしき
置れ〻地まさ持よ鉄
秋の夕暮

江戸 曽根氏

能道堂駒人

雪やふるちりぬさくらに
うら庵のおもてに
茶道人を
厳あしらう

越 直江津 石井氏

流霞亭 春也

こゝろしれに
うつれ行燕の
やりて風
とめつまにハ
涼かけ
なすか里

信 諏訪北澤氏

菴原湍郁

涼しさに
月も山まで
入りて
あくるまを
惜む雁哉九
空

江戸 田上氏

遊ばれ
みるものや
なからう
武蔵の
うつせ舟
きえてる
むさしのに

東颯亭 松河

江戸 中村氏

花糕 素足

夏山の
しまぬ
おもひに
似かよれ
かれ
きえても
とのまに
み綿乃
しら雲

信松本 百瀬氏

菅秋菴万彩

あし
もとに
見ゆる
よりも
目につきけ
はちまつ
しきとか
今のよと
すり

越高田 吉田氏

堀廼屋内人

かすみ
若草の
はるの
はなれや
まちのみきえて
よみかへし
ぬれ
もみし

信 佐久下平尾 堀内氏

やよしの
風もきのふハ
穂なみより
秋の田つらに
見る数うかな

千代園真敖良

信 諏訪 宮坂氏

く羅の尊きを
桃にかしく
まなび
稲妻の
ひかり理を
我もし
悟きあつり
今姓

墨湾庵柚下弥

越直江津 光明寺

大佛を宮よりみさき拾つらん
春の晴ての
あるひちり銭

連語窓高麿

信高遠 北原氏

呉井乃よゝのむかし
多ひ残き
月の舟
さく毛乃
ちし波

妙々居
於兎門

江戸 吉田氏

秋きて野の千種の花のいろ／＼にこゝろを添て虫や啼らむ

江戸 田上氏女

こ露までぬれて通るは涙さへ袖になかるゝ秋の夕くれ

松樹園巣垣

信 諏訪 北澤氏

花さかば
えだをし
をれて
月をみる
人こそ松の
あらしなれ

東雲亭量

信 諏訪 金井氏

祭酒門 盤谷

いとまなも
身を為
月見れ
車井
戸
幾とせ
くまむ
為わし
筧水

江戸 齋藤氏

朓留亭
満盛

よし田河
岩はしり
ちやき
影を
花まつにれ
日暮して
一雞

江戸
田村氏

語粗園
九重

たつた山
峯ふきおろす
紅葉を
もみぢ
嵐の
くれなゐなる
雉ん

信
高遠
白木屋

廣瀬
水青

出羽庄内
左江戸
廣瀬氏

有明鈹 月也

信 埴科新田 長左歌氏

二卅

連語窓 南可伎

ひとむれ 月の かつらに 大ぞらの 星の林を こがれて 下る

信高遠 北原氏

越高田 山岸氏

永日堂春丸

霞しまれ
大和にほかれ
あやましも
おらしまく
名も春る
乃糸

江戸 高田氏妻

菊知園
海都子

むかしより
氏もたてしまき
橋を渡
桜の家の
新す
うきにけり

越　直江津石田氏

桜木を
薪はにけ宿
時しらぬ
庭の白
雪
折まぎれ
ひらく

擢躍亭竹村

江戸 足立氏

醜婦は
形をまね
中なり
玉火鉢
國のまなこや
むさし山塚

邨芝園糸頼

江戸 山本氏

みやこまで
ゑつる雲の
はつきぬを
山里よりや
物出羅ん

蘂園千芳

越高田 室氏

蓮葉亭 安則

おしけらぬ
思ふし
させる
岩つし
はてたよ
流れて
うねうねと
見る

奥会津 中津川 東原氏

松栖門 羽風

くだけても
ちとせの松に
よそへ
掃く
その気は
起れし
ささして

越 高田 松岡氏

信松本 酒井氏

和歌舎 裏道

左信 御影 森氏

兵?竹亭
出直?

すゝとり
よごれぬ
猫も
人なみに
足洗つゝぞ
きよめし
うり
寝る

江戸 金子氏

藤原真玉

鈍き刀
なまてにくく
きれども
つかまへても
物を
ころの数い
ひと川
あり
寛州

信 諏訪 宮阪氏

あかつきは葉
菜の花を
香はして
書よむ窓の
友となる鶯
弥生庵雛丸

江戸 小野氏

よね霞を
見るむと枕哉
たつ霧
あかき
白雲
ましか
妻川
流れ
ゆく

智範尼

信諏訪北澤氏娘

星合真梶

山里は
雲を隔て
て月よりも
高き
とられ
垣の外
の声

越梶村 野田氏

千代室
鶴成

およひ姿や
忘れ山路に
入知く
月雪もそれを
見よみにし
とる

上野館林 横山氏

山里は
雲を隔てて
月よりも
さやけき
ともれ
垣の野
の葛

星合真梶

越梶村 野田氏

おもひ出や
忘れ山路に
入る物く
月雪
もそれを
忘れ見む
とる

千代室
鶴成

上野館林 横山氏

秋冨鈹月好

信 諏訪 小平氏

漱玉亭清丸

萩のうへに
おく志ら
露乃
玉はゝきし
ちりによへる
ひと見ゆる
安蛛哉

信 諏訪 牛山氏

浦酒屋 観潮

潜よ明寒
ちゝみの
ぬる
あれぬ
襲し
喚し
さくら本に
飛れ
つまおそ

相模三崎 湊氏

信 高遠 大林氏

咲花の
中につゝみの
おもかげも
まことは花の
色とこそ見れ

賞月楼　見空

越　直江津　竹田氏

よの中し
われこころを
捨つるまて
まくらにも
あくる
老いし
髪

安閑堂夏海

佐渡相川 石井氏

難波江の
あしの
うれ葉さき
たまりて
なみのみちも
つもれ
白雪

拿垣墨子

江戸西東氏女

平波住

越 高田 室氏

江戸 小野氏女

御影 中村氏

菊園　作女

よ所き
をりて
きゝし山
錦きれ
しげ
着てゆく
きてたる
霧り
むさし野の秋

江戸北見氏妻

紀作也

うゑこみて
またれし
菊の
もみぢをも
根さし
あまた
あつき
月やみる
庭山

信　安原　中澤氏

信 下塚原 青木氏

江戸 福田氏

銀杏亭滿門
江戸 西東氏

豊年舎比斜志
信 高遠 廣瀬氏

家をつむ
こゝろ浅
あるゝの
吹風に
もみぢちるらむ
庵の
袖垣

春日園
長果

信 高遠 春日氏

梅わえてゝ
さくら野の
柳り
やどれて
いよゝ庵に
たゝぬ
春雪

鍵画屋吉子

江戸 小辻氏女

咲みちし
さくらし
みやきの
色こめて
いとゆふかゝる
葉乃袖のまゝ

永壽堂金信

江戸 小过氏

咲きらむ
あらしの
さそれ
しくれ雲
いつち乃人の
袖ぬらさ
羅ん

夜来垣光峨

信 諏訪 大和氏

谷川に
かけわたしたる丸木橋
ゆふかりすてゝ落む
月のかけ

八雲園可恭保

信
高遠 志村氏

さゝしられ
露ちさ
あつう
しかうしの
まか
こゑありと思ふ
能まし

萬秋亭可故良

信 高遠 中川氏

歎合木園 水枝

かけらけ
羽ふれ
あるかゝ
ふゑるふ
あまのれ
山を
おりしろき
山

江戸 柏木氏

江戸 伊藤氏